

# 2010年NPT運用検討会議における各国の立場

非核兵器国 (185か国)

## 非同盟諸国

(Non-Aligned Movement (NAM)、議長: エジプト、118か国) 急進的立場

- ・時限を区切った核廃絶の要求
- ・核兵器禁止条約の提案
- ・2011年までに核軍縮協議開始
- ・2014年に核廃絶行程表作成のための国際会議開催
- ・IAEA追加議定書に慎重

## 新アジェンダ連合

(New Agenda Coalition (NAC)、コーディネーター: エジプト)

構成国: 核の傘に入っていない7か国 = アイルランド、スウェーデン、NZ、エジプト、南アフリカ、メキシコ、ブラジル

- 日豪共同提案に類似 (次の2点に相違)
- ・消極的安全保証に法的拘束力をもたせる
  - ・戦術核を特記
- ※核不拡散について言及なし

## 我が国

「国際委員会」の報告書に基づく現実的な核軍縮・不拡散パッケージ (日豪共同提案)

- ・核兵器の役割低減 (強化された消極的安全保証)
- ・不可逆的・検証可能な核軍縮
- ・核軍備の透明性
- ・追加議定書の普遍化
- ・不拡散措置導入への技術協力
- ・平和利用の重視

## EU

### NATO7等西側諸国

(コーディネーター: オランダ、構成国: 蘭、ベルギー、ノルウェー、スペイン、リトニア、ポーランド、トルコ)

## N5 (米、英、仏、露、中)

1995年と2000年の成果を踏襲

(次につき具体的措置としての言及なし)

- ・核軍備の透明性
- ・核分裂性物質 (FM) 生産モラトリアム
- ・強化された消極的安全保証
- ・核廃絶に向けた「明確な約束」
- ・核兵器の役割低減
- ・核兵器の運用状態低減 (警戒態勢解除)
- ・米露以外の核兵器国による核軍縮

NPT非締約国  
インド・パキスタン・イスラエル

「核軍縮」における立場の開き